

## 伴東小学校 第5学年算数科 シラバス

### 目 標

- (1) 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができる。
- (2) 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解することができる。
- (3) 平行四辺形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解することができる。
- (4) 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができる。

5年生ではこんな学習をします。

月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い
4	数のしくみを調べよう（整数と小数）	4	●整数及び小数について、十進位取り記数法によって表されていることに着目し、十進法としての特徴を総合的に理解し、計算などに有効に用いることができるようにする。
5	直方体や立方体のかさの表し方を考えよう （直方体や立方体の体積）	1 2	●立体の体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算で求めることができるようにするとともに、体積についての量感を豊かにする。
	小数のかけ算を考えよう（小数のかけ算）	1 2	●乗数が小数の場合の乗法の意味や計算の仕方について理解し、それを活用することができるようにするとともに、小数の場合でも整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解する。
6	小数のわり算を考えよう（小数のわり算） どんな計算になるのかな	1 4 1	●除数が小数の場合の除法の意味や計算の仕方について理解する。
7	形も大きさも同じ図形を調べよう（合同な図形）	9	●図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、合同な図形をかくことを通して、平面図形についての理解を深める。
9	整数をなかま分けしよう （偶数と奇数、倍数と約数）	1 2	●偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深めるとともに、整数の見方や数についての感覚を豊かにする。
	比べ方を考えよう（1） （単位量あたりの大きさ）	1 6	●平均の意味を理解し、それらを用いることができる。 ●異種の2量の割合としてとらえられる数量について、比べることの意味や比べ方、表し方を理解し、それらを用いることができる。
	かたちであそぼう「ブロックあそび」 考える力をのばそう「きまりを見つけて～図、表、式を使って考える」	1 2	●3種類のブロックを組み合わせて、大きな三角形や台形を敷き詰める。 ●変化する2つの数量を表に表すことを通して、数量関係や規則性を見つける能力を伸ばす。
10	分数と小数、整数の関係を調べよう （分数と小数）	7	●分数の見方や表し方及び分数と小数、整数の関係について理解し、分数についての理解を深める。
	算数の目で見よう「ピーマンの収かくと日本の機械」	2	●既習内容を活用してグラフや表を考察し、問題解決能力や情報処理能力を高める。
11	図形の角を調べよう（図形の角）	9	●三角形や四角形の内角の和について、図形の性質として見出し、それを用いて図形を調べたり構成したりすることができるようにする。
	分数をもっと知ろう（分数のたし算とひき算）	1 2	●分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにするとともに数についての感覚を豊かにする。
12	面積の求め方を考えよう（四角形と三角形の面積）	1 5	●平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を作り出して、それらの面積を計算で求めることができるようにする。
1	比べ方を考えよう（2）（百分率とグラフ）	1 4	●資料における数量の比較や全体や部分の関係の考察などで割合を用いる場合があることや、その表し方についての百分率について理解するとともに、資料を円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。
2	多角形と円をくわしく調べよう（正多角形と円周の長さ）	1 2	●観察や構成を通して、正多角形の意味や性質についての理解をするとともに、円周率の意味や直径、円周、円周率の関係について理解し、それらを用いることができるようにする。
	分数のかけ算とわり算を考えよう （分数のかけ算とわり算）	8	●分数×整数、分数÷整数の計算の意味や計算の仕方について理解し、それらを用いることができるようにする。
3	立体をくわしく調べよう（角柱と円柱）	6	●観察や構成を通して、角柱、円柱の意味や性質について理解し、空間についての感覚を豊かにする。
	算数の目で見よう	2	
	算数おもしろ旅行	2	

	5年の復習	3	●復習を通して、既習の内容の定着を図る。
--	-------	---	----------------------

ねらいに到達しているかどうか主に次の観点と方法で評価します。

**算数への関心・意欲・態度** 数量や図形の性質や関心などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで活用しようとしているかを、授業の態度や発言、取り組みの様子、提出物やノートなどから評価します。

**数学的な考え方** 数学的な考え方の基礎を身につけ、論理的に考えたり発展的、統合的に考えているかを、テストや発表の内容、ノートやプリントの記述内容等から評価します。

**数量や図形についての技能** 小数や分数の計算が確実にでき、それらを用いて図形の面積を求めたり、図形の性質や数量関係を調べたりすることができるかを、テストやノートプリントなどから評価します。

**数量や図形についての知識・理解** 小数や分数の意味や面積の求め方、基本的な図形の性質及び数量関係の表し方や調べ方を理解しているかを、テストやプリントなどの内容から評価します。